



# 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 4528 URL <https://www.ono-pharma.com/ja>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相良 暁  
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員コーポレートコミュニケーション統括部長（氏名） 谷 幸雄（TEL）（06）6263-5670  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	339,020	24.9	122,590	49.2	124,379	47.5	95,827	48.2	95,656	48.0	95,297	39.5
2022年3月期第3四半期	271,430	15.5	82,167	△0.0	84,349	△0.4	64,669	△2.8	64,620	△2.8	68,303	△17.3
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年3月期第3四半期	195.90		195.88									
2022年3月期第3四半期	129.61		129.59									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	830,539	727,307	721,385	86.9
2022年3月期	739,203	661,674	655,906	88.7

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	33.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	21.8	149,000	44.4	150,000	42.8	114,200	41.5	114,000	41.6	233.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	517,425,200株	2022年3月期	528,341,400株
2023年3月期3Q	29,091,193株	2022年3月期	40,096,713株
2023年3月期3Q	488,291,864株	2022年3月期3Q	498,583,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第3四半期の経営成績の概況	2
(2) 当第3四半期の財政状態の概況	3
(3) 当第3四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 主な製品の売上収益と予想	12
(2) 売上収益の内訳	12
(3) 地域別の売上収益に関する情報	12
(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況	13
(5) 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況	16

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当第3四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期 連結累計期間	2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	271,430	339,020	67,590	24.9%
営業利益	82,167	122,590	40,423	49.2%
税引前四半期利益	84,349	124,379	40,030	47.5%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	64,620	95,656	31,035	48.0%

**【売上収益】**

売上収益は、前年同期比676億円（24.9%）増加の3,390億円となりました。

- ・抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、競合他社製品との競争が激化する一方、胃がん、食道がんなどでの使用が拡大したことなどにより、前年同期比241億円（28.3%）増加の1,091億円となりました。
- ・その他の主要新製品では、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は419億円（前年同期比58.0%増）、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は191億円（同9.0%増）、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は177億円（同8.5%減）、多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス点滴静注用」は68億円（同4.4%増）、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」は65億円（同5.6%減）、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」は65億円（同38.5%増）、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」は38億円（同91.8%増）となりました。
- ・長期収載品は、薬価改定の影響などにより、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は34億円（前年同期比7.5%減）、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は17億円（同34.9%減）となりました。
- ・ロイヤルティ・その他は、前年同期比279億円（32.7%）増加の1,135億円となりました。

**【営業利益】**

営業利益は、前年同期比404億円（49.2%）増加の1,226億円となりました。

- ・売上原価は、製品商品の売上が増加したことなどにより、前年同期比132億円（18.6%）増加の838億円となりました。
- ・研究開発費は、研究に係る費用、創薬提携に係る費用、早期臨床試験に係る開発費用および提携企業との共同開発費用の増加などにより、前年同期比165億円（33.4%）増加の660億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、フォシーガ錠の売上拡大に伴うコ・プロモーション費用やIT・デジタル関連の情報基盤強化に伴う費用などが増加したことにより、前年同期比87億円（15.1%）増加の661億円となりました。
- ・その他の費用は、2022年3月期にPD-1抗体関連特許に関する訴訟に係る費用などを計上した反動により、前年同期比114億円減少の10億円となりました。

**【四半期利益】（親会社所有者帰属）**

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の増加に伴い、前年同期比310億円（48.0%）増加の957億円となりました。

## (2) 当第3四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2022年3月期 連結会計年度末	2023年3月期 第3四半期 連結会計期間末	対前連結会計年度末 増減額
資産合計	739,203	<b>830,539</b>	91,335
親会社の所有者に帰属する持分	655,906	<b>721,385</b>	65,479
親会社所有者帰属持分比率	88.7%	<b>86.9%</b>	
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,343.40円	<b>1,477.26円</b>	

資産合計は、前期末に比べ913億円増加の8,305億円となりました。

流動資産は、現金及び現金同等物や売上債権及びその他の債権の増加などから821億円増加の3,633億円となりました。

非流動資産は、投資有価証券や有形固定資産が減少する一方で、その他の金融資産が増加したことなどから93億円増加の4,672億円となりました。

負債は、未払法人所得税の増加などから257億円増加の1,032億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、剰余金の配当があった一方で、四半期利益の計上などから655億円増加の7,214億円となりました。

## (3) 当第3四半期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期 連結累計期間	2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	61,045	<b>69,112</b>	
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,398	<b>115,064</b>	87,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,056	<b>△44,852</b>	△62,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,234	<b>△30,872</b>	13,362
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,220	<b>39,340</b>	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	211	<b>141</b>	
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,476	<b>108,593</b>	

当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は、393億円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及びその他の債権の増加額238億円などがあった一方で、税引前四半期利益1,244億円などがあった結果、1,151億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入128億円などがあった一方で、定期預金の預入による支出530億円などがあった結果、449億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額288億円などがあった結果、309億円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

通期の業績につきましては、2022年10月31日に発表いたしました業績予想から変更はございません。新型コロナウイルス感染症による事業および業績への影響につきましては、引き続き一定の活動制限が継続されることを想定しておりますが、営業利益に与える影響は引き続き軽微と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示により比較可能性を向上させ、株主、投資家や取引先など様々なステークホルダーの皆さまの利便性をはかることを目的として、2014年3月期から国際会計基準（IFRS）を適用しております。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	69,112	108,593
売上債権及びその他の債権	99,788	124,024
有価証券	60	—
その他の金融資産	47,797	68,442
棚卸資産	41,817	44,832
その他の流動資産	22,692	17,450
流動資産合計	281,266	363,341
非流動資産		
有形固定資産	112,131	108,804
無形資産	64,734	62,532
投資有価証券	125,046	118,343
持分法で会計処理されている投資	108	117
その他の金融資産	127,302	147,249
繰延税金資産	25,074	26,720
退職給付に係る資産	377	334
その他の非流動資産	3,165	3,099
非流動資産合計	457,937	467,198
資産合計	739,203	830,539

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	49,689	49,198
リース負債	2,301	2,443
その他の金融負債	716	3,578
未払法人所得税	1,526	22,419
その他の流動負債	11,694	13,898
流動負債合計	65,926	91,536
非流動負債		
リース負債	6,501	6,456
その他の金融負債	0	0
退職給付に係る負債	3,322	3,532
繰延税金負債	1,009	987
その他の非流動負債	771	720
非流動負債合計	11,603	11,696
負債合計	77,529	103,232
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,241	17,080
自己株式	△74,683	△54,161
その他の資本の構成要素	51,236	48,407
利益剰余金	644,754	692,702
親会社の所有者に帰属する持分	655,906	721,385
非支配持分	5,768	5,921
資本合計	661,674	727,307
負債及び資本合計	739,203	830,539



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	271,430	339,020
売上原価	△70,634	△83,787
売上総利益	200,796	255,233
販売費及び一般管理費	△57,488	△66,147
研究開発費	△49,464	△65,974
その他の収益	745	518
その他の費用	△12,422	△1,041
営業利益	82,167	122,590
金融収益	2,537	2,409
金融費用	△353	△624
持分法による投資損益	△2	4
税引前四半期利益	84,349	124,379
法人所得税	△19,680	△28,551
四半期利益	64,669	95,827
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	64,620	95,656
非支配持分	48	172
四半期利益	64,669	95,827
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	129.61	195.90
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	129.59	195.88

## 要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	64,669	95,827
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	2,709	△743
確定給付制度の再測定	556	△41
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△0	3
純損益に振り替えられることのない 項目合計	3,265	△781
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	344	377
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動	25	△127
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	369	250
その他の包括利益合計	3,634	△530
四半期包括利益合計	68,303	95,297
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	68,252	95,137
非支配持分	51	160
四半期包括利益合計	68,303	95,297

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2021年4月1日残高	17,358	17,231	△44,705	62,299	581,950	634,133	5,610	639,743	
四半期利益					64,620	64,620	48	64,669	
その他の包括利益				3,631		3,631	2	3,634	
四半期包括利益合計	—	—	—	3,631	64,620	68,252	51	68,303	
自己株式の取得			△15,460			△15,460		△15,460	
自己株式の処分		△31	31			0		0	
剰余金の配当					△27,703	△27,703	△4	△27,707	
株式報酬取引		31				31		31	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△7,827	7,827	—		—	
所有者との取引額等合計	—	0	△15,429	△7,827	△19,876	△43,132	△4	△43,136	
2021年12月31日残高	17,358	17,231	△60,134	58,104	626,694	659,253	5,657	664,910	

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2022年4月1日残高	17,358	17,241	△74,683	51,236	644,754	655,906	5,768	661,674	
四半期利益					95,656	95,656	172	95,827	
その他の包括利益				△519		△519	△12	△530	
四半期包括利益合計	—	—	—	△519	95,656	95,137	160	95,297	
自己株式の取得			△2			△2		△2	
自己株式の消却		△20,356	20,356			—		—	
自己株式の処分		△168	168			—		—	
剰余金の配当					△29,786	△29,786	△6	△29,792	
株式報酬取引		130				130		130	
利益剰余金から資本剰余金への振替		20,233			△20,233	—		—	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△2,311	2,311	—		—	
所有者との取引額等合計	—	△161	20,522	△2,311	△47,708	△29,658	△6	△29,665	
2022年12月31日残高	17,358	17,080	△54,161	48,407	692,702	721,385	5,921	727,307	

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	84,349	124,379
減価償却費及び償却費	13,084	12,953
減損損失	345	1,154
受取利息及び受取配当金	△2,285	△2,327
支払利息	52	48
棚卸資産の増減額(△は増加)	187	△2,926
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△17,857	△23,818
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△621	2,023
引当金の増減額(△は減少)	△20,721	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	129	171
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	97	22
その他	2,647	7,723
小計	59,406	119,402
利息の受取額	29	27
配当金の受取額	2,265	2,305
利息の支払額	△52	△48
法人所得税等の支払額	△34,250	△6,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,398	115,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,928	△3,944
無形資産の取得による支出	△6,292	△6,103
投資の取得による支出	△848	△1,613
投資の売却及び償還による収入	16,927	7,367
定期預金の預入による支出	△7,267	△52,975
定期預金の払戻による収入	20,600	12,811
その他	△1,137	△395
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,056	△44,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△26,861	△28,800
非支配持分への配当金の支払額	△4	△6
リース負債の返済による支出	△1,911	△2,065
自己株式の取得による支出	△15,458	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,234	△30,872
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,220	39,340
現金及び現金同等物の期首残高	61,045	69,112
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	211	141
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,476	108,593

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2023年3月期 第3四半期累計実績						当連結会計年度				
	累 計 実 績				前年同期比		前回 予想	前回予想 からの 修正額	修正 予想	前期比	
	4~6 月	7~9 月	10~12 月		増減額	増減率				増減額	増減率
オブジーボ点滴静注	341	358	393	1,091	241	28.3%	1,550	△100	1,450	326	28.9%
フォシーガ錠	131	133	155	419	154	58.0%	470	80	550	183	50.1%
オレンシア皮下注	62	62	67	191	16	9.0%	230	15	245	16	7.0%
グラクティブ錠	60	57	59	177	△16	△8.5%	230		230	△15	△6.3%
カイプロリス点滴静注用	22	22	24	68	3	4.4%	90		90	6	7.6%
パーサビブ静注透析用	21	21	23	65	△4	△5.6%	80		80	△9	△9.9%
ベレキシブル錠	21	20	24	65	18	38.5%	70	15	85	22	35.6%
オンジェンティス錠	12	12	14	38	18	91.8%	50		50	21	73.6%
オノアクト点滴静注用	11	10	14	36	△4	△9.0%	45		45	△4	△7.6%
オパルモン錠	11	11	12	34	△3	△7.5%	35	10	45	△2	△4.9%
ビラフトビカプセル	9	8	9	25	4	20.7%	35		35	8	27.4%
メクトビ錠	7	6	7	20	3	15.5%	25		25	3	11.7%
オノンカプセル	7	5	6	17	△9	△34.9%	25		25	△11	△29.7%

(注) 1. 仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

2. 当連結会計年度の予想売上収益については、現在承認されている適応症のみを対象としております。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間
製品商品	1,859	2,255
ロイヤルティ・その他	855	1,135
合計	2,714	3,390

(注) 「ロイヤルティ・その他」の中には、 Bristol-Myers Squibb社からの「オブジーボ点滴静注」に係るロイヤルティ収入が、前第3四半期連結累計期間には521億円、当第3四半期連結累計期間には668億円、メルク社からの「Keytruda®」に係るロイヤルティ収入が、前第3四半期連結累計期間には224億円、当第3四半期連結累計期間には336億円、それぞれ含まれております。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間
日本	1,833	2,206
米州	783	1,053
アジア	64	86
欧州	34	45
合計	2,714	3,390

(注) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況

2023年1月23日現在

<臨床試験中開発品>

<b>&lt;オブジーボ&gt;</b> *): 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注 /ニボルマブ	効能追加	肝細胞がん	注射	日韓	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	卵巣がん	注射	日韓台	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	膀胱がん	注射	日韓台	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	前立腺がん	注射	日韓台	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
<b>&lt;ヤーボイ&gt;</b> *): 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ヤーボイ点滴静注液* /イピリムマブ	効能追加	胃がん	注射	日韓台	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	食道がん	注射	韓国	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	尿路上皮がん	注射	日韓台	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	肝細胞がん	注射	日韓台	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

<b>&lt;I-0関連&gt;</b>						
						*) : 共同研究により創出された化合物を含む
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ONO-4686* (BMS-986207)	新有効成分	固形がん／抗TIGIT抗体	注射	日本	I / II	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-4482* (BMS-986016) /Relatlimab	新有効成分	悪性黒色腫 ／抗LAG-3抗体	注射	日本	I / II	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7475*	新有効成分	固形がん ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578*	新有効成分	結腸・直腸がん ／プロスタグランジン 受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日本	I	自社
	新有効成分	膵がん／同上	錠	日本	I	自社
	新有効成分	非小細胞肺がん ／同上	錠	日本	I	自社
	新有効成分	固形がん・胃がん ／同上	錠	日本	I	自社
ONO-7913* /Magrolimab	新有効成分	膵がん／抗CD47抗体	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
	新有効成分	結腸・直腸がん／同上	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
ONO-7119* /Atamparib	新有効成分	固形がん／PARP7阻害作用	錠	日本	I	導入 (ライオン社)
ONO-7122*	新有効成分	固形がん／TGF-β 阻害作用	注射	日本	I	導入 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7914*	新有効成分	固形がん／STINGアゴニスト	注射	日本	I	自社



<b>&lt;その他&gt;</b> <span style="float: right;">*) : 共同研究により創出された化合物を含む</span>						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ONO-7913 /Magrolimab	新有効成分	TP53変異陽性急性骨髄性白血病／抗CD47抗体	注射	日本	Ⅲ	導入 (ギリアド社)
	新有効成分	急性骨髄性白血病 ／同上	注射	韓台	Ⅲ	導入 (ギリアド社)
ビラフトビカプセル /エンコラフェニブ	効能追加	甲状腺がん ／BRAF阻害作用	カプセル	日本	Ⅱ	導入 (ファイザー社)
メクトビ錠 /ビニメチニブ	効能追加	甲状腺がん ／MEK阻害作用	錠	日本	Ⅱ	導入 (ファイザー社)
ONO-4059 /チラブルチニブ塩酸塩	新有効成分	中枢神経系原発リンパ腫／BTK阻害作用	錠	米国	Ⅱ	自社
ONO-7475	新有効成分	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌 ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	Ⅰ	自社
ONO-7913 /Magrolimab	新有効成分	固形がん／抗CD47抗体	注射	日本	Ⅰ	導入 (ギリアド社)
	新有効成分	骨髄異形成症候群 ／同上	注射	日本	Ⅰ	導入 (ギリアド社)
ONO-4578	新有効成分	ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん／プロスタグランジン受容体(EP4)拮抗作用	錠	日本	Ⅰ	自社
ONO-4685	新有効成分	T細胞リンパ腫 ／PD-1×CD3二重特異性抗体	注射	米国	Ⅰ	自社
ONO-7018	新有効成分	非ホジキンリンパ腫、慢性リンパ性白血病 ／MALT1阻害作用	錠	米国	Ⅰ	導入 (コーディア社)

★：「オプジーボ」との併用試験

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

(5) 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況

2023年1月23日現在

<臨床試験中開発品>

\*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ONO-2017 /Cenobamate	新有効成分	てんかん強直間代発作 ／電位依存性ナトリウム 電流阻害/GABA <sub>A</sub> イオンチャ ネル機能増強作用	錠	日本	III	導入 (エスケー社)
	新有効成分	てんかん部分発作 ／同上	錠	日本	III	導入 (エスケー社)
ベレキシブル錠 /チラブルチニブ塩酸 塩	効能 追加	天疱瘡／BTK阻害作用	錠	日本	III	自社
ONO-2910	新有効成分	糖尿病性多発神経障害 ／シュワン細胞分化促進 作用	錠	日本	II	自社
ONO-4685	新有効成分	自己免疫疾患 ／PD-1×CD3二重特異性抗 体	注射	日欧	I	自社
ONO-7684 <sup>*1</sup>	新有効成分	血栓症／FXIa阻害作用	錠	日欧	I	自社
ONO-2808	新有効成分	神経変性疾患 ／S1P5受容体作動作用	錠	日欧	I	自社
ベレキシブル錠 /チラブルチニブ塩酸 塩	効能 追加	全身性強皮症 ／BTK阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-2020	新有効成分	神経変性疾患／エピジェ ネティクス制御作用	錠	米国	I	自社
ONO-1110 <sup>*2</sup>	新有効成分	疼痛／内因性カンナビノ イド制御作用	経口	日本	I	自社

2023年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※1：FXIa阻害薬「ONO-7684」について、国内で健康成人を対象としたフェーズI試験を開始しました。

※2：内因性カンナビノイド制御薬「ONO-1110」について、国内で健康成人を対象としたフェーズI試験を開始しました。